

代表者名	小山田 雍	所管部課名	教育庁保健体育課
所在地	秋田市八橋運動公園1-5	設立年月日	昭和55年1月29日

【沿革及び県の出捐理由】

秋田県における学校保健に関する調査研究及び学校保健思想の普及啓発をはかり、学校保健の向上に寄与するため学校医をはじめとする有志と県が基本財産を拠出し、公益事業の実施団体を設立した。(学校保健の一層の推進)

【出捐者】(23年度当初)

(千円、%)

区分	団体数	出捐額	構成比
秋田県	1	20,000	37.0
市町村	25	1,520	2.8
その他	-	32,568	60.2
計	-	54,088	100.0

【事業】

①主たる業務

- ① 学校保健思想の普及啓発、広報。
- ② 児童生徒の健康の調査研究。
- ③ 学校保健関係者の指導研修、顕彰。
- ④ 研修会、講習会の開催、関係機関との連携。

②事業実績

(回)

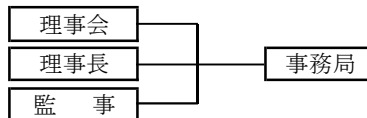
事業名等	20年度	21年度	22年度
地域保健・健康推進対策事業	32	30	37

③22年度事業概要及び23年度事業計画・目標

平成22年度事業概要 健康推進対策事業(27校において健康教室を実施)地域保健事業(10地区)夏期保健事業(3地区)
 平成23年度事業計画 地域保健事業の内容を精査し、事業費の削減を図る。
 健康推進対策事業は講師謝金を削減し、希望校が1校でも多く実施できるようにする。

【組織】

①運営機構



②役員数(H23.7.1現在)

(人)

	理 事	監 事
常勤		
内、県退職者		
内、県職員		
非常勤	14	2
内、県退職者		
内、県職員	1	
計	14	2
内、県関係者	1	

③職員数(H23.4.1現在)

(人)

正職員	1	正職員平均年齢	正職員平均勤続年数
内、県退職者		53歳	12年
内、県職員			
臨時・嘱託		正職員平均年収	千円
内、県退職者			
計	1		
内、県関係者			

役員報酬支給対象者数	人
役員報酬支給対象者平均年齢	歳
平均役員報酬額	千円/年

【財務】

①損益状況(22年度)

(千円)

	金 額
経常収入 A	4,603
受託事業収入	277
補助金収入	580
寄付金収入	3,029
運用益収入	666
その他	51
経常支出 B	4,522
人件費	2,150
その他	2,372
経常損益 C = A - B	81
経常外収入	
経常外支出	
諸税	
当期損益	81

②財務状況(22年度末)

(千円、%)

	金 額	構 成 比
流動資産	1,799	3.2
固定資産	54,088	96.8
資産計	55,887	100.0
流動負債	21	0.0
短期借入金		
固定負債		
長期借入金		
負債計	21	0.0
基本金	54,088	96.8
剰余金	1,778	3.2
正味財産計	55,866	100.0
負債・正味財産計	55,887	100.0

(千円)	
県の損失補償額	県の債務保証額

(千円、%)		
退職給与引当状況	要支給額	引当額
	中小企業退職金共済制度利用	
	引当率	

【県の財政支出】

(千円)

	20年度	21年度	22年度	支出目的・対象事業概要等
補助金				
委託費	555	277	277	健康推進対策事業
貸付残高				

1 主な経営指標

項目		単位	20年度	21年度	22年度	20-21増減	21-22増減
健全性	自己資本比率	%	99.92	99.91	99.96	▲ 0.01	0.05
	借入金依存率	%	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	流動比率	%	3,997.78	3,494.00	8,566.67	▲ 503.78	5,072.67
収益性	剰余金 (▲欠損金)	千円	1,754	1,697	1,778	▲ 57	81
	経常利益率	%	6.43	▲ 1.22	1.76	▲ 7.65	2.98
	総資本利益率	%	0.62	▲ 0.10	0.14	▲ 0.72	0.24
発展性	経常収入額	千円	5,365	4,673	4,603	▲ 692	▲ 70
効率性	総資本回転率		0.10	0.08	0.08	▲ 0.02	0.00
	職員1人当たり経常収入	千円	5,365	4,673	4,603	▲ 692	▲ 70
	人件費比率	%	41.58	47.51	46.71	5.93	▲ 0.80

2 経営目標の達成状況

経営目標			20年度	21年度	22年度	23年度
経営改善指標	寄付収入額 (千円)	目標	3,000	3,000	3,000	3,000
		実績	3,514	3,129	3,029	
事業成果指標	学校保健ゼミナール参加者 (人)	目標	250	250	250	250
		実績	225	225	229	
事業成果指標	事業の開催数 (回)	目標	25	25	27	27
		実績	32	32	40	
顧客満足度指数		目標	65	65	65	85
		実績	85	86	87	

3 経営状況及び課題、経営目標の達成状況についての自己評価

基本財産収入は前年度並みの額を確保できているが、賛助金、寄附金においては目標額に達することができずに収入を増やすことはできなかった。しかし、管理費の占める割合がかなり大きいことから、今年度は管理費を切り詰めて、人件費の削減等に力を入れ黒字財政とした。今後も経費等の節約を心がけていきたい。

<顧客満足度調査の結果を受けて実施する取組>

今後も調査に協力いただき、参加者の声をより多く事業に反映していきたい。

4 総合評価 (計算書類等の資料による評価)

I 概ね安定した経営内容	II 一層の努力を要する経営内容
<ul style="list-style-type: none"> ・経常収支は、前年度の赤字から改善して、80千円の黒字を達成した。 ・事業規模が縮小しており、収支管理だけでなく、資金管理が不可欠な状況である。 ・法人として、今後の事業運営方針を根本的に見直し、収支改善の目処が立たないようであれば、法人解散も選択肢に含めた検討が望まれる。 	